

# LIBERA

volume  
**83**  
2013

[リベラ]



輝く個性。  
大阪経済法科大学  
Osaka University of Economics and Law

## Grow Up 経法生

経法生が語る“経済学部・法学部学生研究発表大会&英語CELL”



【英語CELL参加メンバー】左より、山中 誠さん(法学部1年生)、石谷 将太さん(法学部3年生)、張 晶晶さん(法学部4年生)、片山 宏介さん(法学部1年生)、吉 祥さん(経済学部3年生)、ラットサックビーマンチャニカーンさん(経済学部3年生)

元気  
いっぱい!

躍 動 す る  
経 法 生 !

空手との再会、仲間との出会いが、  
警察官になる夢を後押ししてくれた!

### 警察官の採用試験に備えて体力作りが目的で空手道部に入部

高校2年生の時に、「実録! 警察24時間」のような警察官の仕事を紹介したドキュメンタリー番組を見ました。婦人警官がスカー被害に遭っている女性を守るという内容でしたが、それを見て、「困っている人を助けてあげられる仕事がしたい」と思ったのが、警察官をめざすようになったきっかけです。だから、公務員採用試験の対策講座を受講できるSコースがある、大阪経済法科大学に入学しました。警察官採用試験には体力試験があります。その対策として、体育会系のクラブ活動に取り組んでおくとう利ではないかと考え、子どもの頃に初段を取っていた空手をもう一度やってみようと思い、空手道部に入部することにしました。

### 学業とクラブを両立できたのが大きな自信に

空手道部の練習は基本的に毎日あります。休みがないので勉強と両立させることに自信が持てず、何度か辞めようかと思いましたが、「今辞めたら警察官採用試験の受験もきっと中途半端になる」。それに、警察官になるためにこの大学に入ったので、「意地でもがんばろう」と自分に言い聞かせて続けました。Sコースの講座は、1年生の時は正課授業が終わってから1週間に1回、2年生からは週2回、3年生は週3回と増えていきます。部活と時間が重なっていた日は、部活を休ませてもらって受講しました。私がSコースと部活を両立できたのは、空手道部の仲間の理解と協力があってのおかげです。平日にSコースを受講して練習を休んだ分は、土日の練習で取り戻すようにしました。ハードな毎日でしたが、学習と部活の時間をきっちりとスケジュールできたことで、効率的に勉強に取り組みました。今振り返ると、部活に入っていたからこそ、Sコースにも真剣に取り組みめたと思います。

### 仲間の励まして、怪我を克服して挑んだ2度目の採用試験に合格!

3年生の3月に膝のじん帯を切断するという大きな怪我をしてしまいました。医師から採用試験は1年あきらめて、来年受けた方がいいと言われるほどの重傷でした。私自身「警察官をあきらめよう」と思いましたが、空手道部の仲間が「難しいかもしれないけれど、今年一杯リハビリをがん

ばって受験してみたら」と、励ましてくれました。この時ほど「部活をやっていて良かった」と思ったことはありません。1回目の採用試験は5月にあったのですが、怪我のため実技試験を受けられず、悔しい思いをしました。その後、仲間に支えられリハビリをがんばった結果、2回目の採用試験に合格することができました。2回目の受験に臨む際、医師から「実技試験で激しい運動をしたら、またじん帯が切れるかもしれない」と警告されていましたが、リハビリを支えてくれた仲間のためにも、どうしても受けたかったので挑戦し、見事合格することができました。空手道部の仲間の支えがあったからこそ、合格できたのだと本当に感謝しています。空手道部の活動とSコースの両立は厳しかったけれど、精神的にも肉体的にも強くなったと思います。将来は、地域で困っている人を助けられるような、そして誰からも信頼されるような警察官になりたいです。



### Profile

● 法学部4年生 空手道部  
● 大阪府警察官採用試験合格  
● 佐々木 千仁さん

## CONTENTS

### 02 【特集1】

#### Grow Up 経法生

経法生が語る“経済学部・法学部  
学生研究発表大会”



### 04 経済学部学生研究発表大会

彭 静さん(経済学部 3年生)  
荒木 孝俊さん(経済学部 3年生)  
中村 一平さん(経済学部 1年生)

### 06 法学部学生研究発表大会

武田 優美さん(法学部 4年生)  
岩佐 和幸さん(法学部 4年生)  
石谷 将太さん(法学部 3年生)

### 08 【特集2】

グローバルに学ぶ経法生たち  
経法生が語る  
“英会話ラウンジ「CELL」の魅力”

岡山 明日香さん(経済学部 1年生)  
片山 宏介さん(法学部 1年生)

### 10 【KEI×HO NEWS】

### 14 2012年度卒業生メッセージ

### 16 【元気いっぱい! 躍動する経法生!】

佐々木 千仁さん(法学部 4年生)  
大阪府警察官採用試験合格

2013年3月25日発行

【編集】大阪経済法科大学事務局庶務課  
〒581-8511 大阪府八尾市染音寺6丁目10番  
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp/>



# Grow Up 経法生

## 経法生が語る“経済学部・法学部学生研究発表大会”

学生たちが日頃から取り組んできた研究成果を発表する舞台となった「経済学部学生研究発表大会」と「法学部学生研究発表大会」が、2012年11月に開催されました。幅広い分野の中から学生たちが選んだそれぞれのテーマについて、研究の成果を発表する貴重な機会となった今大会は、エントリーした学生のみならず、多くの学生・教職員がプレゼンテーションを見守り大盛況のうちに終わることができました。今回のLIBERA83号では、各学部の研究発表大会で入賞した上位3名の発表内容を中心に、それぞれのテーマを選定した理由や大会にかける思い、今後の目標などについて紹介します。

### 経済学部 学生研究発表大会 発表者一覧

奥山貴文さん、榊原礼人さん、高柳貴さん、蘆芸穂さん、許丁さん、彭静さん、大山明梨さん、顧傑さん、荒木孝俊さん  
HOKS、TEAM 山垣、高砂ゼミ、山垣チルドレン、ATI、坂井中小企業研究会、演習ⅢB-a、深瀬ゼミチーム、スッキリ!!!、高砂ゼミのCOME、チームK、BLP特別演習(高砂ゼミ)チームシルバー、演習Ⅱ(松下ゼミ)、経営実践I・II、お化け屋敷発表チーム、八尾のアイデンティティ(校歌)、八尾バル実行委員会、コミュニティビジネス研究会、E12クラス、高砂ゼミチーム「KEBABU」、演習I(松下ゼミ)、音楽発表チーム、高砂ゼミteamナビオ、L'3(高砂ゼミ)、高橋ゼミ・MKI中小企業研究会、高砂ゼミKNJ、A STUDY SMES、高砂ゼミチーム03、高砂ゼミ チームフラベチーノ、ニノらば、チームとっちゃん、中小企業研究会、チーム細見、高砂ゼミ チーム高砂、自由、高砂ゼミ チームGold、りんご、高砂ゼミハウス、塩見くんチーム、BLP特別演習(高砂ゼミ)チーム高砂建設、ヤマトグループ、チーム高砂ゼミ OKH48、郭酒前(RMK)、チームMNP、web2.0能塚ゼミ、JTM

### 法学部 学生研究発表大会 発表者一覧

石谷将太さん、武田優美さん、吉山華南さん、和田純祐さん、白川研人さん、川原絢子さん、遠藤宏明さん、安部美冴子さん、三成行弘さん、丸尾和哉さん、渡邊満里絵さん、仲川裕亮さん、島和寛さん、岩佐和幸さん、泊絢菜さん、白川雄基さん



# 幅広い分野でチームの研究成果を発表

記念すべき第1回は「経済・産業」「国際」「企業経営・戦略」「ICT・技術」など、設定された10セッションに全55チームがエントリー。所要時間15分以内にプレゼンテーションを行い、質疑応答に回答します。

**留** 学生の私は、母国・中国にいた頃から英語の勉強をしていました。大阪経済法科大学に留学できた理由は、英語力によるところも大きいと思っています。そこで、勉強している経済学について英語で発表してみようと思い、経済学部研究発表大会に出場することになりました。テーマとして選んだのは、中国で大ブームとなっている「英会話」です。今や世界の約2億人もの人が勉強していると言われる英語に着目し、今回の発表では、コミュニケーションツールとしての有用性と魅力、学習の必要性について訴える内容にしました。もちろん、プレゼンテーションも質疑応答も英語で行いました。一席という結果は、信じられませんでした。が、ゼミの高橋美多先生や友達から祝福の言葉を掛けていただき、喜びを実感できました。4年生になる来年は、もっと英語力を高めてTOEIC(R) 800点以上が目標です。同時に日本語力も磨いて日本企業への就職をめざしています。

テーマは「英語ブームから生まれた夢」すべて英語によるプレゼンテーションと質疑応答を実施

## 経済学部 学生研究発表大会

ソーシャルメディアに着目した「情報発信・交流ツール!人も企業も大注目!ソーシャルメディアのSNS」を発表

**2** 年生の夏に経済学部大会に出場しました。初出場で二席という結果に満足すると同時に、卒業するまでに必ず一席を取ると誓いました。3年生になり、「経済学部研究発表大会」に出場を決めたのは、初開催となるこの大会で、「今度は一席になりたい」と思ったからです。ソーシャルメディアをテーマに選んだのは、今やソーシャルメディア抜きにして、ICT・技術は語れないと感じているからです。履修している山根陽一先生のゼミでFacebookを使うことになったのを機に、ソーシャルメディアについて、なぜ空前のブームを巻き起こしているのか、誕生と今日に至る経緯と活用事例を紹介することで魅力に迫る研究に取り組みことにしました。二席を狙っていたので、二席という結果には少し残念でしたが、二席の彭静さんの発表を聞いて納得しました。来年こそはリベンジを果たし一席を獲得したいです。



一席受賞 経済学部3年生 彭静(ほうせい)さん



高橋 慎二 経済学部准教授

### 経済学部の活性化のために、学部を挙げて研究発表大会を開催

記念すべき第一回は「経済学部が1つになる日」というスローガンのもと、55チームがエントリーしました。今年の特徴は実践系のテーマが多かったこと。たとえば東大で開催された音楽祭をプロデュースするなど、ゼミ体験の報告が多かったです。各先生の指導のもと、学生たちがどのように研究に取り組んだのか発信する場となり、学生同士のみならず教員同士も刺激になりました。



二席受賞 経済学部1年生 中村 一平さん

### チーム名は「OKH48」人気アイドルを題材にマーケティング戦略を独自の視点で分析

**夏** 休み前、ゼミの高橋謙二先生から「経済学部研究発表大会」が新たに開催される話を聞きました。1年生の私たちが研究発表大会に出場するなんて無謀だと思ったのですが、人前で発表する機会などめったにないので、思い切って挑戦することにしました。最初は経済学部らしく「中小企業」をテーマに考えていましたが、勉強をはじめて間が無い私たちにとって、中小企業は未知の世界です。チーム内で相談した結果、私たちの世代が共感を持てる等身大のテーマを選ぼうということになりました。そこで、選んだのが大ブレイク中のアイドル「AKB48」です。私は「AKB48」のファンですが、別のアイドルと比較することで、人気の秘密を分析してみるとおもしろいと考えました。二席という結果は素直に嬉しいです。研究発表大会に参加したことでメンバー間の結束が強くなりました。もっと学習を深めて来年も出場したいと思っています。

# 自ら課題を発見し法的根拠に基づき解決案を発表

**人** 前で話すのが苦手な方で、少しでも克服できればと考えて学生研究発表大会への出場を決めました。初出場した2年生の時は、緊張して声が震えました。3年、4年と学年を追うごとに、堂々と発表できるようになり、自分でも成長を実感しています。大学生活最後となる4年次に選んだテーマは「議員定数不均衡の判例と問題点」です。このテーマにした理由は、私の地元である鳥取県は人口密度が低く、選挙の際に「1票の格差」で話題になることが多い自治体で、以前から関心を持っていました。判例が多くまとめるのに苦労しましたが、裁判所の判断方法についても踏み込んで解釈した発表としました。「席を狙っていただけに最後の年が二席という結果は正直悔しいですが、検察官をめざしている私にとって、人前で意見を述べるといって法曹界で不可欠なスキルを身につけられる貴重な体験ができました。



## 学生研究発表大会に出場することで、先輩たちの新しい学習領域を広げたい

**ア** メリカのロースクール進学を目標に、ゼミで海外の判例を勉強しています。学生研究発表大会に出場しようと思った理由は、海外の判例を読んでいる学生が少ないので、私の発表により先輩たちに新しい学習領域を広げられると考えたからです。そこで、世界を震撼させたリーマン・ブラザーズというグローバル企業の倒産、いわゆる「リーマン・ショック」の際に、世界各国で発生した「倒産会社特約」を取り上げようと思いました。倒産

会社特約とは、会社が倒産した時に、今まで結んでいた契約を解除できることです。これが有効か無効かは、各国の法律によって分かれるところです。「破算申立時解除特約の有効性」をテーマに、イギリスとアメリカで有効か無効か裁判所の判断が分かれた「解除特約」について、判例を発表しました。英語の判例を翻訳するだけで数カ月を要しましたが、初出場で三席という結果を残すことができました。ことについては満足しています。

一席を狙って、満を持して選んだテーマ「議員定数不均衡の判例と問題点」

## 法学部 学生研究発表大会

「労働法」にちなんだテーマを設定 大学生生活最後の研究発表に挑戦



**社** 会保険労務士をめざして法学部に入学した私にとって、「労働法」は、アルバイトと照らし合わせながら勉強できる、生活密着型の法律だと感じていました。2年生の時から出場していた学生研究発表大会でも、選んだのは「労働法」にちなんだテーマです。特に大学生活最後となる今年、以前から大学に関わるテーマを取り上げたいと考えていました。そこで少子高齢化が進み定年の延長が社会的潮流となってきたことに着目し、大学教員が持つ知識や研究成果を教授・発表できる環境について発表したいと考え、「大学教員の定年制の問題について」をテーマに決定しました。就職活動と重なったため、研究期間をあまり取れませんでした。発表の前日まで原稿を添削し、諦めずに研究に取り組んだ結果、昨年の三席を上回る二席を受賞することができ、自身の成長を実感することができました。



丹羽 徹 法学部教授

### 法学部生の学習意欲向上を図り、論理的思考力と問題解決力を養成

法学部学生研究発表大会は13回目を迎えた伝統的な行事です。「憲法問題」や「死刑制度」など法律を語る上でオーソドックスなテーマに加えて、今年は「食の安全」や「アメリカの商取引と日本の比較」といった、世相を反映させたものが多かった印象です。どの発表も秀逸な内容となっており、学生たちの学習成果を存分に発揮する機会になったと考えています。



松下 幸史朗 経済学部准教授

### 学生と留学生、 教職員が一丸となった グローバルコミュニケーションの舞台

将来、グローバル企業や国際的組織などでの活躍をめざしている学生に向けた新しいキャリアプログラムが「GCP (グローバルキャリアプログラム)」です。「CELL」はその取り組みの一つで、ゼミ形式で学ぶ「GCP特別演習」がスタートする前に、留学を考えている学生や、英語を話せるようになりたいと思っている学生を後押しする場として企画しました。参加した学生は英語を学びたいという気持ちが強くなり、学習に対する意識が変わったと感ずます。「CELL」はまだスタートしたばかり。これからも英語に親しむきっかけづくりの場として活用してほしいです。



## グローバルに学ぶ経法生たち

【特集2】

# 経法生が語る“英会話ラウンジ「CELL」”の魅力

花岡キャンパスの学生ホール棟「クロノス」2階にあるカフェラウンジで、2012年11月中旬から12月末まで、毎週木曜日の夕方、英会話ラウンジ「CELL (CHRONOS English Language)」が開催されました。今回の取組は、2013年4月開講予定の「GCP (グローバルキャリアプログラム)」に先駆け、英語力の向上を図りたい学生や国際理解に関心がある学生を対象に行われたイベントです。英語で流暢に話す学生もいれば、知っている単語を駆使してボディランゲージで意思を伝えようとする学生など様々で、留学生の姿も見られました。英会話スキルが異なる学生たちをリードするのは、ネイティブの英会話講師の先生たち。最終日にはクリスマス・パーティーが開催されるなど大盛況だった「CELL」について、今回は「CELL」に参加した学生と企画立案者のお一人、経済学部の松下幸史朗准教授にお話を聞きました。



■経済学部 1年生  
岡山 明日香さん

授業にはないカジュアルな雰囲気で楽しく英語に親しむことができました!

**在** 学中にアメリカへ留学したいと思っています。英語の授業で先生から「CELL」のことを聞き、今までネイティブの人と触れ合う機会がなかったことから、参加してみることになりました。「CELL」は3人の先生が担当されていたので、先生二人につき学生7〜10人の少人数制なのが良かったです。ヒアリングもままならない私でしたが、先生のサポートのおかげで「こんな時はこう答えるんだ」と、英語での受け答えを少しずつ身につけることができました。クリスマス・パーティーなどのイベントもあり、カジュアルな雰囲気です。英語に親しめるのも魅力でした。これからも、ぜひ参加したいです。

フリートークで英語コミュニケーション力を磨いて、留学する夢を実現させたい!



■法学部 1年生  
片山 宏介さん

**オ** 1ストライア旅行に行くことがきっかけで、海外に興味を持つようになり、今後の成長と自分の価値観を高めたくて、早い段階で留学したいと考えています。だから、英語力の向上をめざして「CELL」に参加しました。担当のネイティブの先生とは面識はありませんでしたが、先生から話しかけてくださったので、すぐに打ち解けることができました。最初は英語を訳すのが追いつかず、会話についていけませんでした。慣れてくると訳す前に英語で答えられるようになり英語力のアップを実感しました。留学生の友達もたくさんでき、機会があればまた参加したいです。



### 「大阪経済法科大学 八尾市民無料法律相談」を オーバルで開催

11月10日(土)、八尾駅前キャンパス[オーバル]に大阪弁護士会所属の東尚吾弁護士・枝川直美弁護士(山口健一法律事務所)を相談役にお招きし、「八尾市民無料法律相談」が開催されました。

今回の法律相談は、学生の法学教育の一環としても行われており、本学の法律相談会に所属する学生が記録係として立ち会いました。法律相談会のメンバーは、法科大学院進学・司法試験合格をめざす者が多いため、相談終了後には事件の内容や回答内容を整理し、相談役の弁護士と一緒に問題点を検討したほか、学部時代の勉強方法や法科大学院進学後の生活などについてのアドバイスなども受けていました。



### 「第15回八尾シンポジウム」で経済学部高橋慎二准教授が基調講演 ゼミ生も参加し大学の地域連携を議論



11月29日(木)、大阪府中小企業家同友会八尾支部主催のもと、八尾市文化会館プリズムホールで、「第15回八尾シンポジウム」が開催されました。

このシンポジウムは、八尾市中小企業地域経済振興基本条例に盛り込まれている「地域産業の栄えるにぎわいのあるまちづくり」の実現に向けての具体策を議論するという企画で行われました。

第1部では、高橋慎二経済学部准教授による基調講演「八尾市にある大学と地域を含めた中小企業との取り組みについて」があり、基本条例に照らして、大学と地域との連携の重要性やあり方等について話されました。

第2部では、八尾の中小企業と地域のあり方についてパネルディスカッションが行われ、地域の企業の方々と共に高橋准教授のゼミ生である長澤彰彦さん(経済学部4年)が、パネリストの一人として参加しました。

長澤さんは「中小企業の仕事はイメージしにくいので、産学連携によってお互いを知ることができることは良いことだ」と、学生の視点から大学と地域が連携することの意義について語りました。

第3部では、これまでの議論を踏まえたグループディスカッションが行われ、本学の学生も参加し、様々な分野の方々と熱い意見交換が行われました。

### 2012年度法学部公開シンポジウム「法を学ぶこと、法をいかすこと」を開催

11月20日(火)、八尾市文化会館プリズムホール・小ホールで、法学部公開シンポジウム「法を学ぶこと、法をいかすこと」が開催されました。

今回のシンポジウムは、身近な問題を通して法が社会の中でどのように生き、どのように活かすことができるのかを、働く若者の具体的な状況を通して考えてもらうと企画されたものです。

シンポジウムでは、丹羽徹法学部教授が本学でのキャリア教育の取り組みについて報告を行った後、NPO法人POSSE京都代表の川久保弘氏と弁護士の和田香氏から、若者の労働事情、法律相談等から見てくる問題と、学生時代に学んでおいてほしいことなどについて講演が行われました。



協定書を確認する八尾市長と金澤理事長、大松議長と藤本学長(前列左3人目から)

### 「大阪経済法科大学と八尾市との包括連携に関する協定書」 「大阪経済法科大学と八尾市議会との地域連携に関する覚書」を締結

2月14日(木)、八尾駅前キャンパス[オーバル]にて、「大阪経済法科大学と八尾市との包括連携に関する協定書」及び「大阪経済法科大学と八尾市議会との地域連携に関する覚書」の合同調印式が執り行われました。

合同調印式では、八尾市から田中誠太市長をはじめ、副市長及び幹部職員、八尾市議会から大松桂右市議会議長をはじめ、副議長、13名の市議会議員及び議会事務局、本学から金澤俊孝理事長、藤本和貴夫学長をはじめ副学長、学長補佐等の役職者が参加する中、午前10時30分に開式しました。協定・調印に至る経緯説明、

協定書・覚書文の朗読の後、田中市長と藤本学長による協定書への署名、大松市議会議長と藤本学長による覚書への署名がそれぞれ行われました。署名後、田中市長、大松市議会議長及び藤本学長からの挨拶があり、双方の協力関係の深化に向けた抱負が各々表明され、合同調印式は、閉式しました。

本学と八尾市との包括連携協定は、「八尾市民大学講座」をはじめとする公開講座、「いきいき八尾環境フェスティバル」など、これまでの様々な分野における連携・協力関係を基に、知的・物的資源の相互活用、人的交流及び地域防災等の様々な事項にお

いて、連携を積極的に推進し、双方の発展と充実と寄与することを目的としています。

また、本学と八尾市議会との覚書は、知的資源を集積する本学と、市民を代表して市政の意志決定を行う八尾市議会が連携することにより、地域社会における様々な政策課題への適切な対処と、地域の発展に資することを目的としています。

本学は、この目的の達成に向け、学術研究、大学教育、生涯学習、まちづくり、地域防災、産業・文化の振興等の様々な分野において、八尾市及び八尾市議会との一層の連携・協力を進めていきます。

2012年度秋学期課外活動 主な戦績

大阪学生バドミントン新人戦でベスト8に入賞

12月10日(月)～19日(水)、東淀川体育館で行われた大阪学生バドミントン新人戦で、体育会バドミントン部所属の藤井俊輔選手(法2年)が、ベスト8に入賞しました。3回戦まで順当に勝ち上がった藤井選手は、準々決勝となった5回戦で強豪選手と対戦し、一進一退の攻

防を繰り広げるなど、善戦しました。

●藤井俊輔選手 「今大会では、ベスト4入賞を果たせませんでした。自分のやりたいプレーができたので、満足しています。」



2012大阪オープンテコンドー選手権大会で3選手が優勝

12月9日(日)、大阪市立中央体育館で開催された2012大阪オープンテコンドー選手権大会に体育会テコンドー部に所属する3選手が出場し、全選手が優勝を果たしました。-63・68・80kg合同級(上級の部)に出場した主将の芝田健太選手(経済4年)は、決勝戦で同志社大学の選手を圧倒し、優勝を果たしました。-54・58kg合同級(上級の部)に出場した藪貴恒選手(経済3年)、-63kg級(初級の部)に出場した

井上孔介選手(法1年)も、決勝戦まで順当に勝ち上がり、決勝戦も危なげない試合運びで、見事優勝を果たしました。

●藪貴恒選手 「全国や世界大会とは違い、大きな大会ではありませんでしたが、出場した選手全員が優勝し、金メダルを獲得できたので、とても良かったです。今後も良い成績を残せるよう、練習に励みたいと思います。」

平成24年度新人戦本戦で4位入賞

12月9日(日)、大阪市立大学で開催された関西学生将棋連盟平成24年度新人戦本戦で、文化会将棋部所属の山家築さん(法1年)が、強豪選手と互角の戦いを繰り広げ、4位入賞という好成績を残しました。12月2日(日)に行われた予選を通過し、本戦を迎えた山家さんは、1回戦、2回戦では大阪大学の学生に連勝し、3回戦で強豪立命館大学の学生に惜敗しました。3位決定戦

では、同志社大学の学生と接戦の末、惜敗し、新人戦4位入賞という最終結果になりました。

●山家築さん 「4位入賞はうれしく思いますが、準決勝でミスをしてしまい、優勝のチャンスを逃してしまったので、少し悔しい気持ちもあります。次の目標に向かって、頑張りたいと思います。」

《合格者速報》各種試験に832名合格!

主な合格実績(2013年3月13日現在)

公務員採用試験 47名合格

- 国家公務員採用一般職試験(広島法務局)
●大阪市職員採用試験
●福岡県北九州市(上級等)採用試験
●静岡県御前崎市職員採用試験
●静岡県菊川市職員採用試験
●大阪府公立義務教育諸学校事務職員採用選考
●警視庁警察官採用試験
●大阪府警察官採用試験
●奈良県警察官採用試験
●京都府警察官採用試験
●和歌山県警察官採用試験
●滋賀県警察官採用試験
●三重県警察官採用試験
●山口県警察官採用試験
●静岡県警察官採用試験
●岡山県警察官採用試験
●東京消防庁職員採用試験
●大阪市職員(消防吏員)採用試験
●豊田市職員(消防吏員)採用試験 他

法科大学院・大学院入学試験 22名合格

- 岡山大学法科大学院(既修者)
●大阪市立大学法科大学院(既修者、未修者)
●関西大学法科大学院(既修者)
●立命館大学法科大学院(既修者)
●同志社大学法科大学院(未修者)
●和歌山大学大学院経済学研究科
●大阪市立大学大学院経済学研究科
●大阪市立大学大学院文学研究科
●関西大学大学院会計研究科
●立命館大学大学院言語教育情報研究科 他

各種資格・検定試験(公務員・大学院含め832名合格)

- 税理士試験
●税理士試験(科目合格)
●行政書士試験
●宅地建物取引主任者試験
●法学検定試験スタンダード(中級)コース、ベーシック(基礎)コース
●ビジネス実務法務検定試験(2級、3級)
●日商簿記検定試験(1級、2級、3級)
●ファイナンシャル・プランニング技能検定試験(2級、3級)
●販売士検定試験(2級、3級)
●国内旅行業務取扱管理者試験
●マイクロソフト(R) オフィススペシャリスト (Word、Excel、Powerpoint、Access)
●秘書技能検定試験(準1級、2級)
●メンタルヘルス・マネジメント検定試験II種 他



「日中友好学生囲碁交流大会」が開催

2月17日(日)、八尾駅前キャンパス[オーバル]にて、「日中友好学生囲碁交流大会」が開催されました。この取組は、本学が毎年実施している「海外フィールドスタディ」の一環として行われたもので、本学の海外協定校である復旦大学(中国)から世界大会で3位(女子では1位)に入賞した実力選手や、関西学生囲碁連盟1部リーグに所属する強豪選手が多数集まりました。当日は、ホストとなる本学囲碁部の他、復旦大学、立命館大学、関西学生囲碁連盟選抜(大阪大、京都大、京教大、関学大)の4チーム(1チーム5人)で、総当たりのリーグ戦形式で対局が行われ、公式戦さながらの雰囲気の中、熱い戦いが繰り広げられました。対局終了後に催された交流会では、互いの健闘をたたえ合う姿や再戦を誓い合う学生たちの姿が見られ、囲碁を通じた日中交流が図られる有意義な大会となりました。

女子学生ワークショップ・交流会を開催
参加者は「いのち」「絆」にまつわる朗読に感動

12月13日(木)、八尾駅前キャンパス[オーバル]にて、女子学生ワークショップ・交流会『「今日からはじまる」～言葉と音楽で綴るコンサート《ことのは・こぼこ》』が開催されました。この取組は、学年・学部を超えて女子学生同士が交流を深める場として行われたもので、今年度2回目の開催となりました。今回は交流会に加え、外部よりお招きした音楽家によるピアノ演奏・朗読を通じて、「いのち」「絆」に関する語りに触れる

音楽会が催されました。参加した約70名の学生・教職員は、幼児から高齢者まで様々な世代が綴った語りの内容に静かに耳を傾け、中には涙する学生の姿も見られました。参加学生からは、「心に響く朗読にとても感動しました」「家族や友人に感謝していきます」「今後も定期的にこのような交流の機会を設けてほしい」など、今回の企画に満足した様子のコメントが多数寄せられました。



東大阪市連携7大学公開講座にて、華立教養部教授が講演

2月19日(火)、ヴェル・ノール布施(東大阪市)で開催された「第2回東大阪市連携7大学公開講座」において、華立教養部教授(専門:東洋史)が「京都に白象がやってきた:長崎日中貿易秘話」をテーマに講演を行いました。東洋史を専門とする華教授は、講演の中で、唐船でベトナムから運ばれた白象の事例などを紹介し、江戸時代、鎖国期の長崎では実際はオランダを凌ぐ規模で中国との貿易が盛んに行われていた事、当時の長崎における貿易は江戸期の日中両国の経済・文化交流を促しただけでなく、前近代東アジアの海域ネットワークの重要な一端を担っていた事などを紹介しました。講演には約120名の市民の方が参加されました。



《東大阪市連携7大学公開講座》
●主催:東大阪市教育委員会 社会教育センター
●参加大学:大阪経済法科大学(八尾市)、大阪商業大学・近畿大学・大阪樟蔭女子大学・樟蔭短期大学・東大阪大学(以上、東大阪市)、大阪産業大学(大東市)

先輩のみなさんへ、クラブ活動や「経法祭」など、大学生の間にしかできない、いろいろなことを経験しておきましょう！そして、自分の可能性を信じましょう！自分を信じればきっと強くなれますよ。それが希望の進路の選択に必ず繋がります。

あまり企業に興味が無かったのですが、崔先生(経済学部教授)の「企業研究ゼミ」を受講して、企業のことを掘り下げて調べていくうちに、とても興味を持つようになりました。この授業を通して就職活動にも積極的に取り組めるようになったと感謝しています。

# 05

Message

法学部4年生  
佐藤 要さん

藤原産業株式会社内定

1年生の時にゼミ合宿に参加したのですが、学習以外にバーベキューなどを楽しんで、仲間と打ち解けて友達が増えました。3年生の時に参加した、議員インターンシップでは、大阪府議会を傍聴するという体験を通して、キャリアについて考えるきっかけになりました。



# 公務員

(大阪府職員 学校事務)内定

法学部4年生  
吉村 環見さん



スギ薬局(ジャパン)内定

経済学部4年生  
森本 悠椰さん



# 07

Message

株式会社遠藤照明内定

経済学部4年生  
芝田 健太さん



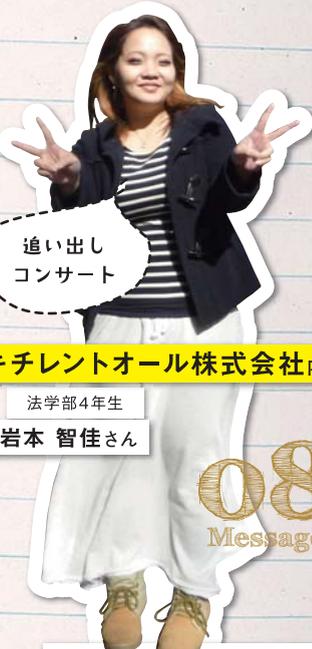
# 06

Message

追い出しコンサート

ダイキレントオール株式会社内定

法学部4年生  
岩本 智佳さん



# 08

Message

柔道全国大会出場

滋賀県警察本部内定

経済学部4年生  
谷口 徹さん



警察官をめざして、体力づくりの一環で柔道部の活動に力を入れていました。3年生の時に念願の全国大会に出場できたことが嬉しかったです。高砂先生(経済学部准教授)のゼミでは、学習はもちろん、プレゼンの方法や就職活動の取り組み方など、たくさんのご指導を学べたことも印象に残っています。

# 09

Message

4年間の一番の思い出はJAZZ研究会での活動。恒例の「追い出しコンサート」では、追い出される側になって涙、涙のLIVEに感激でした！3年生の時の「キャリア演習」は忘れられない授業の一つ。山路先生(教養部講師)とキャリア支援課の職員の指導を受けたことが役に立って、内定をもらうことができましたと思います。ありがとうございました。

# Congratulations!!

## 2012年度卒業生メッセージ!

大阪経済法科大学で過ごした貴重な4年間に胸に、希望に満ちた未来の扉を開く卒業生たちの熱いメッセージをご紹介します!

Osaka University of Economics and Law

友栄食品興業内定

法学部4年生  
栗林 伸さん



# 04

Message

就職活動は自分の人生を充実させるための一つ。一生懸命取り組むことで、結果は必ずついてきます。その結果、僕も警察官採用試験に合格することができました。先輩のみなさんへ夢をあきらめずにがんばってください。

株式会社ACN内定

法学部4年生  
行岡 安芸さん



経法祭

# 01

Message

アメリカンフットボール部に所属していましたが、部員みんなで参加して盛り上がった「経法祭」は、一番の思い出です。先輩のみなさんへ、大学生活はあっという間なので、後悔ないように今しかできないことに挑戦してみてください!

# 03

Message

三重県警察本部内定

法学部4年生  
土記 拓也さん



環境保全研究グループの活動で、「ふれあい池」で保全しているニホンバラタナゴを40,000匹にまで増やせたことが一番の思い出です。それに、ゼミの白井先生(法学部講師)のアドバイスを受けながら、法学部研究発表大会に出場したことも、貴重な体験になりました。

体育会本部  
副本部長

# 02

Message

法学部4年生  
高橋 泰大さん

大阪レンタル株式会社内定

「国際法」の授業で最後にレポートを提出に行った時、魏先生(法学部教授)が優しく声を掛けてくださったことが忘れられません。大学生生活4年間を通して、体育会本部という学生自治体で、仲間を支えられながら副本部長を務めたこともいい思い出です。

